

とよた市議会 だより

6月市議会
定例会号
平成22年7月15日

ファイルNo.
100

保健サービスの充実と利便性の向上を図ります

(仮称)豊田市中央保健センター建築工事

日本脳炎予防接種費や緊急雇用創出事業費など

補正予算 3億1,800万円を議決 (一般会計)

ピックアップ
TOPICS
トピックス



3歳児健康診査 (市保健センター)

(仮称)豊田市中央保健センター完成イメージ

保健活動の拠点として 子育てや保健活動の拠点施設として(仮称)豊田市中央保健センターを建設します。平成24年8月の完成を目指し、保健・医療・福祉サービスの更なる充実を図ります。

●トップインフォメーション

- 丸わかり・早わかり!市議会のしくみ ②
- 市議会の傍聴・見学にきませんか? ③

●議案説明・討論

- 補正予算・財産の取得など ④

●採決一覧 議案審議結果 ⑤

●常任委員会 付託案件・請願・陳情を審査 ⑥

市政について問う!

●一般質問 23人の議員が質問 ⑧

●トピックス

- 交通安全啓発活動、議員表彰など ⑫



創刊100号を迎える 「とよた市議会だより」



▲平成4年7月1日発行の創刊号



丸わかり・早わかり!市議会のしくみ

市民のみなさんが暮らしやすいまちづくりを進めるためには、市民全員で考え、話し合って実行していくことが望ましいことです。しかし、実際には市民全員で行っていくことはとても難しいため、みなさんが選挙によって市長や議員を自分たちの代表として選び、それぞれが対等な立場で話し合い、まちづくりを進めていく。それが市議会です。


市議会はいつも開催しているわけではなく、年に4回(3・6・9・12月)の「定例会」があり、3～4週間ほどかけて市が行うことを決定します。また、急いで決めなければならないことがあった時のために「臨時会」があります。

市議会に関わっている人たち

市民

私たちが市長や議員を選びます。

市長や議員は、私たちの代表です。




市議会に直接は参加をしない代わりに、自分たちの代表として市長や議員を選挙で選ぶことで、意見や願いを市のまちづくりに反映させます。

議員

市の仕事をチェックします。

みなさんの要望を市長に伝えます。



市民から選挙で選ばれた、みなさんの代表です。みなさんの意見を伝えたり市の仕事を話し合いにより決めます。また、市の仕事が正しく行われているかどうかをチェックします。

市長

私が市民の要望を実行します。



同じく市民から選ばれた、市の方針や将来像を決めて運営していく責任者です。お金の使い方(予算)や決まりごと(条例)を市議会に提案し、決まったことを実行します。



市議会は、国会や県議会に比べると、みなさんにとって身近な問題を取り上げることが多いという特徴を持っています。

例えば…

◎小中学校やこども園の建設・修理



◎公園や公共施設の建設・修理



◎消防署の建設や消防自動車、救急車の購入



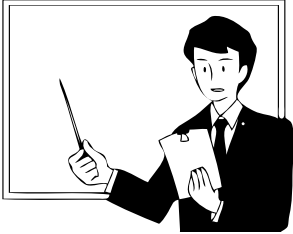
◎上水道や下水道の整備





市議会の流れ

議案



市長や議員が、市が行う仕事、お金の使い方、決まりごとなどについて提案を行います。

本会議

本会議とは、市が行うことを最終的に決める会議です。
市長が決めた市の計画や仕事を本当に行うか、それとも行わないかは、多数決によって決まります。



議決



本会議で賛成が過半数を占めた議案は可決され、市長に届けられ、実行に移されます。

請願・陳情



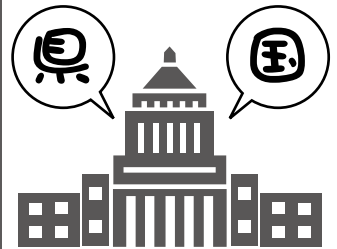
市民のみなさんが、直接市議会に提案する要望です。

委員会



市が行う仕事は多いため、仕事の種類によって担当の議員を決めて、専門的に調べたり意見を出し合って、賛成か反対かを決めて、本会議に報告します。

意見書



市だけでは解決できないことは、国や県などへ意見書として提出して、議論してもらいます。

市議会の傍聴・見学にきませんか?

◆議会の傍聴

本議会や委員会の様子は、どなたでも傍聴していただけます。当日、傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴券が交付された後は自由に会場へ出入りできます。車いすでの傍聴や盲導犬・介助犬を伴った傍聴も可能です。また、手話通訳者をご希望の方は、5日前までに議会事務局までお申し込みください。

★代表・一般質問の質問項目は、市議会ホームページで事前に公開しています。

傍聴受付

※会議が始まる30分前から受付

本会議→市役所南庁舎8階 委員会→同7階委員会室前

※期間日程は広報とよた、市議会ホームページなどをご参照ください。

◆議場の見学

本会議を開催していない日は、議場を見学することができます。職員がご案内しますので、見学をご希望の際は、事前に議会事務局までご連絡ください。

先生必見!!

社会見学にピッタリ!
クラス単位での傍聴も
お待ちしております。



▲今年2月の傍聴の様子
(岩倉小学校児童)

◆お問い合わせ

豊田市議会事務局
(豊田市役所・南庁舎6F)

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp





工事請負契約の締結、財産の取得など16議案を議決

主な案件名	内 容
<p>補正予算</p> <p>【第89号】 平成22年度豊田市一般会計補正予算</p>	<p>日本脳炎予防接種費や緊急雇用創出のため、3億1,800万円の増額補正予算としました。</p> <p>日本脳炎予防接種は、平成22年度は3歳の幼児(平成18年4月生まれ～平成20年3月生まれの幼児)を積極的勧奨対象者とし、3歳になった翌月中旬に接種券が発送されます。</p> <p>また、緊急雇用創出事業では地域農業後継者育成事業などにより51人の新規採用を予定しています。</p>
<p>工事請負契約の締結</p> <p>【第90号】 (仮称)豊田市中央保健センター 建築工事</p>	<p>保健活動の拠点施設として保健センター、保健所及び関連する部署を集約し、保健・医療・福祉のさらなる充実を図るとともに、東庁舎の老朽化や庁舎の狭あい化等の解消を図るため、(仮称)豊田市中央保健センターを建設します。</p> <p>安全・安心で使いやすい施設とするほか、太陽光発電などを採用し、環境に配慮した設計となっています。</p> <p>施設は地上8階、地下2階建てで、契約金額は46億1,685万円、完成予定は平成24年8月です。</p>
<p>財産の取得</p> <p>【第93号】 豊田地域医療センター 電子カルテシステム</p>	<p>現行の紙カルテを電子媒体で管理するシステムで、診療記録、検査、投薬、画像などの院内情報を一元的に管理するものです。診療情報を共有することで、チームでの医療支援が可能となり、患者の立場からも診察の目的、診療内容が理解しやすくなります。</p>

討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

諸 派 大村 義 則

議案第85号は、食育や地産地食の観点から言うが残念。今後、本市が掲げている食育推進を実現するなど、市が公としての責任を十分に果たす運営体制をめざすべきであることを付け加えて、賛成。

請願第1号は、細菌性髄膜炎ワクチンの公費による早期の定期接種化は、市として国に要望しているの必要なという趣旨の意見も多いが、ヒブワクチンの有効性についてはWHOが無料接種を推奨していることも見ても明らか。また、独自の助成制度を作った自治体が90に及んでいることから見て採択の必要性があると考え、賛成。

自民クラブ 都 築 繁 雄

議案第89号の交通まちづくりモデル事業調査費の増額補正予算は、市の特徴・強みである「交通」「産業」を活かした先進的な取組や技術の導入により、「環境にやさしいまち豊田」を積極的にアピールできるとともに、より効果的な交通安全対策につなげるものと

評価する。この取組が一過性のもので終わることのないよう、実用に向けて前進することを期待し、賛成。

議案第92号は、安永川の改修で適正規模の排水路を確保することは急務の課題であることは明らかだが、本契約は本年1月の専決処分に続き2回目である。今後は事前調査の精度を一層高めて、当初の契約を意義あるものにしていただきたいと付け加え、賛成。

市民フォーラム 桜井 秀 樹

議案第90号は、地元企業の参入と活性化により10億円を超える経済効果があると聞く。市民フォーラムとしても市における公契約条例の制定を目指しており、今回の契約で市内貢献策について契約当事者双方が締結している点も評価し、賛成。

議案第93号は、豊田地域医療センター電子カルテシステムが、将来的には豊田厚生病院やトヨタ記念病院、足助病院をはじめ、市内医療機関との情報の共有化・ネットワーク化が実現でき、市民にとって更なる質の高い医療サービスが受けられることを期待し、賛成。

公 明 党 佐藤 恵 子

議案第90号は、標準型総合評価方式をとっており、技術力や信頼性に加え、今回初めて市内貢献策の提案を評価項目に加えたことを評価する。また、市内経済活性化のための市内業者の活用と育成についても評価し、賛成。

議案第93号は、機種選定にあたって医師・看護師など現場の評価を判断材料としたこと、また、トラブル対応、セキュリティ対策研修など運用においても万全の対応であることを評価する。今後は重要な個人情報の取り扱いに細心の注意をはらっていただくことを期待し、賛成。

諸 派 岡田 耕 一

議案第93号は、豊田地域医療センター電子カルテシステムがすべての医療スタッフにとって使いやすいものになるよう企画・設計・開発を進め、スムーズな運用につなげてもらいたい。本システムが患者の安全・安心と、さらなるサービス向上につながることを期待し、賛成。



議案審議結果

※議案名など一部省略して記載しています

6月市議会定例会に提出された案件	採決結果	会派別賛否								
		自民クラブ 30名(議長除)		市民フォーラム 10名		公明党 3名		諸派 4名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
◆議案										
第80号	過疎地域における固定資産税の課税免除の特例に関する条例	原案可決	29	0	10	0	3	0	4	0
81	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0
82	法令遵守推進条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0
83	職員の職員団体のための行為の制限の特例に関する条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0
84	職員退職手当条例及び市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0
85	学校給食センター条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0
86	体育施設条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0
87	豊田市の環境を守り育てる条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0
88	地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	//	29	0	10	0	3	0	4	0
89	平成22年度一般会計補正予算	//	29	0	10	0	3	0	4	0
90	工事請負契約の締結([仮称]市中央保健センター建築工事)	//	29	0	10	0	3	0	4	0
91	〃 (市道鞍ヶ池スマートインター線道路改良工事[第1工区])	//	29	0	10	0	3	0	4	0
92	工事請負契約の変更(一級河川安永川トンネル新設工事[水源工区])	//	29	0	10	0	3	0	4	0
93	財産の取得(豊田地域医療センター電子カルテシステム)	//	29	0	10	0	3	0	4	0
94	〃 (水槽付き消防ポンプ自動車)	//	29	0	10	0	3	0	4	0
95	市道の認定 (3路線/710.8m)	//	29	0	10	0	3	0	4	0
◆同意										
第6号	人権擁護委員の推薦(新任:太田悦子氏、長坂雅和氏、原田裕氏、深津孝子氏 再任:福岡紘三氏、三宅幸人氏)	同意	29	0	10	0	3	0	4	0
◆報告										
第5号	経営状況の報告(土地開発公社はじめ23法人)									
6	専決処分報告(損害賠償額の決定3件)									
7	継続費等の報告(継続費、繰越明許費など)									
◆請願										
第1号	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める請願書	不採択	0	29	0	10	0	3	4	0
◆陳情										
第3号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する陳情									
4	子ども手当の廃止を求める陳情									
5	働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書									

請願・陳情

請願

【請願 第1号】細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める請願書

細菌性髄膜炎から子どもたちを守るため、ヒブワクチン任意予防接種に関して費用を助成する制度の創設と国にヒブワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書の提出を要望する。

※上記の請願を所管委員会及び本会議にて審査した結果、不採択となりました。

陳情

【陳情 第3号】選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する陳情

社会の基盤となる一体感のある家庭や家族を守り、子供達の健全な育成と、子孫によき社会を残すために、選択的夫婦別姓制度を導入しないよう国に働きかけるよう要望する。

【陳情 第4号】子ども手当の廃止を求める陳情

子ども手当では子や孫の世代にお金を借りて今の親を支援するということに他ならず、恒久的政策として続けていけば、国の財政は完全に破綻してしまう。よって国に制度の廃止を求めるよう要望する。

【陳情 第5号】働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書

格差社会と貧困問題が深刻化するなか、国及び自治体は「住民の福祉の増進を図る」施策の充実と、平和憲法を守り国民生活の安全を確保していくことが求められている。よって件名のことについて国及び自治体に要望する。

※左記・上記の3つの陳情が提出され、所管の委員会へ報告されました。



6月16日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、6つの常任委員会で行いました。
委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。

産業 建設 委員会

6月17日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第88号】 豊田市地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部を改正する条例

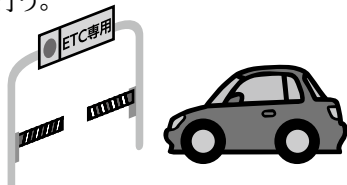
質問 今回の条例改正により影響が出る地域住民への同意はどのように進めてきたのか。

答弁 岩滝町自治区及び市木町自治区を対象に今年1月に説明会を実施し、地元との合意形成に努めてきた。また、それに先立ち、開発計画の内容についても事業者から関係自治区に説明を行い、計画内容の周知を行った。

【第91号】 工事請負契約の締結(市道鞍ヶ池スマートインター線道路改良工事 第1工区)

質問 平成19年に社会実験が始まった際、工事途中で硬岩が出て補正予算により対応した経緯がある。今回も同じ場所での工事になるが、補正による対応が発生しないような工法を考えているか。

答弁 現在の道路は東海環状自動車道の工事搬入路を利用し、山を切り開くかたちでの工法であった。今回は現在の道路を活用しつつ、施設の配置や道路構造の見直しと地質調査を綿密に行い、岩掘削については極力少なくなるよう配慮した施工を行う。



環境 福祉 委員会

6月18日、付託された2議案と請願1件を審査し、議案のすべてを承認し、請願1件は不採択としました。

【第87号】 豊田市の環境を守り育てる条例の一部を改正する条例

質問 上位法令等の引用部分の条ずれに伴う一部改正だが、土壤汚染対策法、県民の生活環境の保全等に関する条例の改正はどのようなものか。

答弁 土壤汚染対策法については土壤調査の機会を増やし、汚染土壌処理業許可制度を新たに創設するなどの改正がされた。県条例については法改正を受けて整合性を図り、汚染が判明した際の応急措置の義務規定等が盛り込まれた。

【第93号】 財産の取得(豊田地域医療センター電子カルテシステム)

質問 電子カルテ導入による不正アクセスやデータの改ざん等のリスクに対し、どのような対策を講じるのか。また、外部からの侵入の心配はないのか。

答弁 1点目は、ID番号とパスワードで本人認証することによるアクセス制限。2点目は、USBメモリーやCDなど外部媒体の使用を制限した情報の漏えい対策。3点目は、すべての端末機器にウイルス対策ソフトを導入することによるウイルスの侵入防止。これらによって対策を講じていく。なお、このシステムは病院内だけのネットワークとして独立をしており、外部のネットワークとは物理的に遮断されているため、外部からの侵入の心配はない。

教育 次世代 委員会

6月21日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情2件を報告しました。

【第85号】 豊田市学校給食センター条例の一部を改正する条例

質問 小原給食センターは藤岡給食センターとともに新北部給食センターに統合されると聞いていたが、今回先行して藤岡給食センターに統合するのはなぜか。

答弁 小原給食センターは平成27年度の新北部給食センターの完成に合わせて統合する予定であったが、建築後38年が経過しており建物がかなり老朽化している。また、給食をつくるための設備についてもかなり傷んでおり、平成27年度まで使用するには改修等にかかなりの費用を要するため、費用対効果、効率性、安全性を考え、藤岡給食センターへ先行して統合した方が効果的・効率的であると判断した。



【第86号】 豊田市体育施設条例の一部を改正する条例

質問 料金設定に関する考え方はどのようなか。

答弁 施設の貸し出し部分にかかる維持管理費を、施設を最大限に利用したと想定した場合の使用料収入で賄うことを料金設定の基本としている。この考えに基づいた算定結果を基に、他市の同類施設の使用料や市内の既存施設である総合体育館や柔道場の使用料などと比較したうえで料金を設定している。



委員会

生活
社会
委員会

6月22日、付託された1議案を審査し、全会一致で承認しました。

【第94号】財産の取得（水槽付き消防ポンプ自動車）

質問 今回購入する水槽付き消防ポンプ自動車2台の配備先及び更新基準と、今回購入する車両の積載水量を1,500リットルとした理由は何か。

答弁 配備先は藤岡小原分署と足助消防署であり、更新基準年数は走行距離や使用頻度による性能低下を考慮して、13年から15年としている。積載水量については、水槽付き消防ポンプ自動車は火災現場の近い場所に停車し積載している水を使用して迅速に消火活動を開始したり、建物の中に進入した隊員を火災の熱から守るための援護注水を行うことが目的であり、このような活動の初期段階として必要な水量が、1,500リットル程度になるためである。

質問 廃車となった車両の処分方法、過去の寄贈実績、今回の対象車両の処分予定は。

答弁 廃車する車両については、譲与、売却、廃棄の3つの処分方法がある。過去10年間の実績は、財団法人日本消防協会、社団法人日本外交協会、財団法人オイスカを通じて消防自動車19台、救急車10台の合計29台と可搬式の動力消防ポンプ6台をペルーやマレーシア、フィリピンなどの10カ国へ寄贈している。今回の車両2台についても、開発途上国へ寄贈していく予定である。

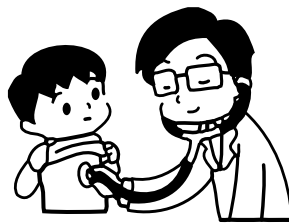
企画
総務
委員会

6月23日、付託された6議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情2件を報告しました。

【第90号】工事請負契約の締結（仮称：豊田中央保健センター建築工事）

質問 請負率が低いが、市内へ十分還元ができるのか。

答弁 今回の請負率については78.03パーセントであるが、本市としてはこの2年間に低入札価格調査の基準については10パーセント強、失格基準については10パーセント程度と引き上げてきており、以前ほどの低入札ではない。しかし、ヒアリングの中でも薄利であるという話を聞いていることから、今後はさらなる検討を加え、品質の高い工事の施工と適切な利益を確保できるような体制をとっていきたい。



質問 下請企業の利益の確保に関し、市内には具体的にどのような経済効果が期待できるか。

答弁 経済効果についての提案は2点。1点目は、工事に直接関連する資材の調達で市内に本支店がある業者を活用することや、コンクリートや鉄骨、鉄筋など大きな資材を市内で調達をするという提案。2点目は、従業員の市内での飲食や日常の事務用品の調達、工事関係車両などの燃料代、従業員が利用する駐車場の借り上げといった二次的経済効果の提案であり、それに対する経済効果指標としての金額を示していただいている。

予算
決算
委員会

委員会を6月16・25日に、各分科会を17・18・23日に開催し、全会一致で承認しました。

【第89号】平成22年度豊田市一般会計補正予算

質問 日本脳炎予防接種費について、約2億円の補正予算を6月補正で計上していく必要性について、どう考えるか。

答弁 既に3歳になっている幼児には、夏の流行期の前に接種機会を確保してもらうことが望ましいことから、この委託料等として6月補正での計上が必要と考えている。

質問 緊急雇用創出事業費について、市としての支援策は今後どのように行っていくのか。

答弁 支援策について、再就職など一部把握できていない部分もあるので、本年度はすべての事業について正確な状況の把握に努めて実施していきたい。

質問 次世代バス推進費について、市民にとって、今回の燃料電池バスの導入によるメリットはどのようなものか。

答弁 環境モデル都市として、燃料電池自動車等を積極的に導入することにより、本市の取組姿勢を市民や全国に発信し、豊田市全体のイメージアップも期待できる。また、市民の環境に配慮した行動の意識付けになると考えている。





6月14日から16日にかけて、23人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー(南庁舎1階)、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する9月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

杉浦弘高

自民クラブ

- 公有財産の効果的な活用
- 山間地域への取組方針
- 緊急経済対策の今後の展開

質問 農山村地域の活力を高める
中期、長期的展開は

合併以降、ほとんどの旧町村地域で人口減少が続いている。今年度、都市と農山村の共生に向けた施策が円滑に進むよう統括部門が新設されたが、中期・長期戦略としては今後どういった方向や分野へ展開して行くのか。

答弁 市長

農山村地域が元気になるには人と人との交流が必須であり、地域資源を生かした交流活動の拡大に時間を惜しまず、長期的視点に立って粘り強く継続し支援していくことが大切。中山間地域への定住対策なども含めたこれらの事業を、それぞれの地域会議の議論を踏まえながら、今後も重要な政策として、取り組んでいく。

稲垣幸保

自民クラブ

- 農山村地域振興のための取組について

質問 中山間地域における
道路整備の必要性

農山村地域振興のためには地域事情や道路の現状を十分に考慮した道路整備が極めて重要であると考えますが、中山間地域の道路整備の重要性の認識と「小原～旭地域核間の連結道路」の整備について、市の見解は。

答弁 建設部

中山間地域の道路を整備することは、交通安全の確保はもとより地域振興や定住促進、観光交流、災害時の緊急輸送路確保の観点からも大変重要であると認識している。「小原～旭地域核間の連結道路」の整備については、現在進めている市道小原大平干洗線をはじめとする3路線が事業中であり、一定の目処が立った段階で本路線の事業に着手していく。

作元志津夫

市民フォーラム

- 豊田市の中山間地域の耕作放棄地の解消に向けて
- 待機児童の解消と保育ニーズの対応について

質問 サラリーマンが参加できる
貸し田んぼの展開

足助地区では労働組合による休耕田を活用した稲作体験事業が行われている。こうした取組を通じてサラリーマンが定年後などに農業に従事することも期待できる。貸し田んぼと稲作体験事業の今後の期待と方向性を伺う。

答弁 市長

遊休農地を活用した労働組合の取組みはすばらしく、感謝している。また、豊田都市農山村交流ネットワークを始めとする地域で活動する市民の組織においても力強い手ごたえを感じられたであろうと思う。農業体験などのニーズは高いものがあり、中山間地域には多くの遊休農地があるため、今回の取組みを契機に広域かつ継続的に展開されるよう、地域の協力を得て積極的に進めたい。



梅村憲夫

自民クラブ

- 介護高齢者の居住と地域見守り体制について

質問 モデル地区での
ネットワークの形成

高齢者が安心して生活を送るためには、本人の努力だけでなく公的なサービス体制の整備や地域でのネットワーク形成が不可欠。市内にモデル地区を設定し、具体的な支援策に取り組んでいく考えはないか。

答弁 福祉保健部

来年度の共働提案事業では、地域で高齢者を支援する体制を構築すること

を目的とし「高齢者が地域で暮らし続けるため、私たちにできること」をテーマに具体的な提案を募集する。応募された提案の中でテーマに沿った実現性の高いものについてはモデル的に取組を進めていく考えであり、それを特定の地域に限定する場合はモデル地区として実施する。

都築繁雄

自民クラブ

- 広域まちづくりの推進

質問 定住自立圏構想の
ねらいと概要

定住自立圏構想とは、中心市と周辺の市町村が自らの意思で対一の協定を締結することを積み重ねる結果として形成される圏域だと聞いている。その構想のねらいと概要は。

答弁 総合企画部

定住自立圏構想は、中心市の「都市機能」と周辺市の「魅力」を活用し、相互の役割分担のもと、連携・協力することで地方圏への人口定住を促進することをねらいとした広域連携政策である。中心市は、圏域全体としてメリットがある事業を構想として定めることで、国からの支援を得て魅力ある地域の実現に受けた取組を進めることが可能となる。

高木キヨ子

自民クラブ

- 豊田市の教育について

質問 教育長と教育委員
について

教育長職は広く門扉を開いて選任することも必要だと思うが、教育長を歴代校長経験者から選任していることのメリットは何か。また教育委員定数増員の経緯は。

答弁 教育委員会

教育長を歴代校長経験者から選任することのメリットは、教育に関する専門的識見と行政的にも経験豊富な人材を選任することができることである。教育委員の増員については、合併による市域の拡大や市民ニーズの多様化、教育を取り巻く環境の変化などの諸課題に的確に対応するため、平成20年10月から保護者である委員を1名増員している。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議員団 諸派：会派所属無

一般質問

日恵野雅俊

自民クラブ

- 豊田市中心市街地活性化基本計画
- 商業振興施策の見直し

質問 防犯カメラ、AEDの維持管理支援を

市内の商店街と、安全で安心な商店街をめざして多くの防犯カメラやAEDが設置されているが、定期点検などの維持管理が大きな負担となっている。防犯カメラ及びAEDの設置後は適正な維持管理ができるよう支援を行うべきだと考えるが、市の見解は。

答 弁 産業部

防犯カメラ・AEDの整備は、地域住民の生命、財産を守るものであり、社会資本の一部を設置店舗・設置施設が担っているものと認識しており、維持管理にかかる経費の支援のあり方について検討していく。



樹神義和

市民フォーラム

- 「まちづくり基本条例戦略プラン」への取組
- 「中期経営方針」策定に向けて

質問 平成25年度以降の財政見通し

「行財政運営検討特別委員会」は1,400億円程度の財政規模を基本とすべきだと提言しているがいかか。また、基金と市債について「中期経営方針」ではどのような考えを盛り込むのか。

答 弁 経営政策本部

現時点においては国の制度改正等に不透明な部分が多く、将来の予算規模を実額でとらえることは非常に困難。

基金・市債に関しては財政運営の新たなルールづくりの検討を進めていく。

太田博康

自民クラブ

- 豊田地域医療センターの今後について
- 任意の予防接種について

質問 子宮頸がんワクチンの啓発活動と市の考え

子宮頸がんはワクチンで防ぐことのできる「予防できるがん」であるが、市としてワクチンに関する情報を市民にどのように提供しているのか。また、子宮頸がんワクチンの公費助成についてはどのように考えるか。

答 弁 福祉保健部

市民への啓発については今も子宮頸がんワクチンに関する情報について市のホームページの中で情報提供しているが、今後もさらに充実していく。子宮頸がんワクチンの公費助成に関しては、市の財政状況を勘案しつつ来年度に向けて検討を行う。

鎌田ひとみ

公明党

- 女性特有のがん対策について
- 細菌性髄膜炎から乳幼児を守るために

質問 子宮頸がんワクチンとウイルス検査の公費助成

子宮頸がん予防ワクチンの公費助成について市の見解は。また、ワクチン接種とともに子宮頸がんの主な原因であるヒトパピローマウイルス(HPV)検査も公費助成を導入すべきだと考えるがいかか。

答 弁 福祉保健部

子宮頸がんワクチンの公費助成に関しては、市の財政状況を勘案しつつ来年度に向けて検討を行う。HPV検査については、国から示された「がん予防重点健康教育及びがん検診実施の指針」に含まれていないため導入は予定していない。現在、HPV検査の有用性や費用対効果等は調査段階のため、これからの調査結果や国の動向もふまえて導入の必要性を研究していく。

鈴木章

自民クラブ

- 豊田市のへき地医療政策について

質問 足助病院改築の支援と工事規模・スケジュール

足助病院の改築は現在の場所で診療を行いながら改築されると聞いているが、工事の規模とスケジュール、完成後の病院機能はどうか。また、足助病院改築に向けた支援の方向性について、市の考えは。

答 弁 福祉保健部

延床面積は約1万1,000平方メートル、地上4階建てと、現在とほぼ同じ規模である。改築は来年の3月に着工し、工事全体の完了は平成24年度末までを目指す。病院機能については、診療科目は現行と同じ13診療科、病床は190床を予定。支援に関しては、愛知県厚生連から本市に対して支援要請があり、市としても支援の検討に着手した。支援内容については、足助病院改築支援検討委員会での意見も参考に議会と協議をしていく。

牛田朝見

自民クラブ

- 合併地区における消防力の強化について
- ケーブルテレビを活用した地域密着型の情報提供

質問 合併地区における消防署所の整備計画

合併地区では面積の広さや道路網の弱さによる消防の出動・輸送距離が大きな課題となっている。「消防整備基本計画」では既存消防署の移転や新設について触れているがその計画は現在どのようか。また、本市において唯一消防署のない小原地区について市の見解は。

答 弁 消防本部

稲武出張所については、今年度、進入路の用地買収を行い、平成24年度に庁舎建設工事を実施する予定。(仮称)藤岡南部出張所の計画は平成24年度以降に整備についての検討を予定。足助消防署の建て替えについては平成28年度以降に供用開始を目指し準備を進めていく。小原地区の出張所建設については次期の計画を策定する平成29年度までに将来の対応について決定する。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

中根 大

自民クラブ

- 中山間地域のコミュニティを守る施策について

質問 遠距離通学者のスクールバス運行

市は遠距離通学を余儀なくされている児童生徒の実情を把握しているのか。また、必要な地域のスクールバス運行の具体的な実施策についてどのように考えているのか。

答 弁 教育委員会

スクールバス利用者を除く本年度の遠距離通学者数は、小学生79人、中学生367人である。公共交通機関のない地域の遠距離通学者支援については課題として把握しており、今後、全市的な視野で遠距離通学者の支援策を見直し、関係課と協議の上でスクールバス運行も選択肢の一つとして検討する。

外山 雅崇

諸 派

- 新地域医療センター基本構想について
- おいでんバスと名鉄バスについて

質問 小児科等の常勤医師確保と慢性期患者の受入態勢

これからの高齢社会に向けて脳神経外科、循環器内科の整備が必要であり、一方で小児科や整形外科等の常勤医師不足も課題である。今は常勤医師や当直医師の多くを藤田保健衛生大学に依存しているが、今後は医師確保の手法の転換も視野に入れた施策が必要ではないか。

答 弁 福祉保健部

これからの療養病床の計画は具体的に決まっておらず、状況の変化があれば考慮する。地域医療センターは藤田保健衛生大学との間で交わした医療の相互協力に関する協定書に基づき、大学からの派遣を中心に医師確保に対応している。今後も引き続き藤田保健衛生大学からの医師派遣を中心に考えていく。また、病院等を退職した医師を嘱託医師として採用することやドクターバンクへの登録、募集広告等により人材確保に取り組んでいる。

桜井 秀樹

市民フォーラム

- 男女共同参画社会の推進に向けて

質問 関係部署との連携と今後の体制

第二次とよた男女共同参画プランで計画された事業の遂行、進ちよくをチェックするための推進連絡会議は昨年度2回のみで開催だが、今後は取組のフォロー強化を含めた活性化が必要だと考える。また、会議の充実はもちろん、部署内の調整を行うためにも「専門監」を配置して取り組むべきと考えるがいかがか。

答 弁 社会部

男女共同参画推進連絡会議においては、事業全体の進捗管理を充実できるよう必要に応じて会議を開催していく。さらには第二次とよた男女共同参画プランに掲げた23の重点事業を推進するために関係7課による調整の場を設け、着実な事業推進を図っていく。今後、担当専門監の設置については状況をふまえた上で検討する。

清水 郁夫

自民クラブ

- 口蹄疫について
- 豊田市内の地域商業の生きる道
- 環境に対する取組と施策

質問 口蹄疫に関する市の対応策

主に宮崎県にて感染が広がっている口蹄疫について、市は口蹄疫の対策を畜産農家等とどのように進めているのか。また、今後の対策については。

答 弁 産業部

口蹄疫発生以降、産業部と福祉保健部が連携して口蹄疫の発生状況及び国や宮崎県の防疫対策について情報収集につとめ、県との情報共有を図っている。6月7日には10部17課1施設の所属長による連絡会議を開催。県内・市内での口蹄疫の発生に備えて豊田市口蹄疫対策本部設置要綱及び口蹄疫対策マニュアルを策定した。今後は農家の防疫強化と負担軽減を図るため、防疫薬剤の無料配布を実施する。

根本 美春

諸 派

- 子宮頸がんワクチンの公費助成を
- 学校教育の場に、労働安全衛生法を

質問 子宮頸がん予防のためワクチン接種費用の助成を

女性特有のがんのなかでも子宮頸がんは初期症状がなく、がんに気づいた時にはかなり進行していると言われている。検診とともにワクチンの接種が推奨されているが、接種費用の公費助成について市の見解は。

答 弁 福祉保健部

子宮頸がんワクチンの公費助成に関しては、ワクチン販売会社からの情報では現時点で59の自治体を実施または実施予定と聞いている。本市においては、市の財政状況を勘案しつつ来年度に向けて検討を行う。

鈴木 規安

自民クラブ

- 豊田市の文化財保護政策について

質問 市民の財産としての文化財の保護政策

市の文化財は市民の財産であるが、そのような貴重な財産を後世に残すために、今後、行政としてどのように取組んでいくのか。

答 弁 教育委員会

歴史的・学術的価値の高い文化財を保護していくために、今後も文化財の掘り起こしに努めていく。市の指定文化財のうち価値の高いものについては、県や国への上位指定を促進し、広く市民の財産として周知していく。現在基本構想を検討中の(仮称)豊田市ふるさと歴史館では、収蔵機能を充実させ貴重な文化財の保全を図る。





一般質問

諸 派：会派所属無

吉野 博子 市民フォーラム

- 「100年の森づくり構想」の核となる人材育成
- 「スマートグリッド実証地域」における豊田市の役割

質問 スマートグリッド実証プロジェクトに関する豊田市の考え方

市と民間企業との共同企画による「『家庭・コミュニティ型』低炭素都市構築実証プロジェクト」が経済産業省の「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に選定されたが、本プロジェクトに関する市の基本的な考え方は。

答 弁 経営政策本部

本実証プロジェクトは民間主体の事業ではあるが、本市のまちづくりに欠かせない重要な取組として認識しており、民間と連携して地方都市型低炭素社会システムの構築に積極的に取り組む考えである。展開にあたっては、本実証プロジェクトが官民共同によるプロジェクトであることを考慮しつつ、庁内の情報共有と連携を徹底し、全庁一体的な取組として実証事業を確実かつ効果的に推進していく。

小島 政直 公明党

- 高齢者施策について
- 行政運営におけるガバナンス

質問 高齢者の増加に伴う行政のあり方

超高齢社会の時代を迎えるにあたり、高齢者を標準とした「高齢者標準社会の実現」のための、行政のあり方について市の考えは。

答 弁 福祉保健部

市民の目線に立って仕事が進められるよう、職員の接遇研修や市民によるアンケートを実施している。窓口での高齢者への対応については、よりわかりやすい説明を心がけ常に工夫して対応している。広報とよたについては、平成19年度には書体の変更等により読

みやすく改良した。今後も各施策事業が高齢者の視点を考慮し実施されるよう、福祉保健部として働きかけていきたいと考えている。

近藤 光良 自民クラブ

- 医療・福祉サービスの充実を目指して

質問 地域バランスを考慮した公的医療施設の整備

平成18年12月に提出された医療対策懇話会の提言書において、「地域医療センターの施設整備については、人口や医療機関の立地状況等の地域バランスを考慮して、移転し行うという選択肢を検討することが適切と考える」と述べられているが、今後この内容をどのように進めるのか市の見解は。

答 弁 福祉保健部

提言書の内容を踏まえ、「新・豊田地域医療センター基本構想」を策定し、それをもとに検討を進めている。しかし全国的な医師不足のもと、地域医療センターにおいても将来安定的に医師が確保できるかという問題と、公益法人制度改革や経営の改善という法人そのものの運営に関わる課題も生じている。市としては提言書の趣旨を尊重しながら、直面するこれらの課題に対応しつつ必要な役割や機能の詳細についてさらに検討を進め、今年度内を目途に方向性を示すよう努力する。

岡田 耕一 諸 派

- 本市における積極的な広告化への取組

質問 広告付き窓口封筒の代理店公募を

平成18年に導入された無償提供による広告付き窓口封筒は、導入以来広告代理店を一社に限定しているが競争原理を導入すべきと考える。公募の条件としては地域経済への貢献も考え、印刷業者を市内の業者にするなどの条件を付けてはいかかか。

また、封筒への広告掲載料として1円以上の支払いを条件とした競争入札を実施すべきと考えるが、市の見解は。

答 弁 市民部

今年度依頼分からは公募での対応を考えている。公募の際に条件を付加することで、結果として納入される封筒の品質低下を招くことがないよう条件の付加に関しては慎重な対応が必要だ。しかし、公募に参加した複数の代理店の中から一社を選定する際の評価ポイントとして、市内印刷業者の利用も考慮したい。

大村 義則 諸 派

- 障がいのある子ども達の教育条件改善のために
- 非核平和行政の前進のために

質問 三好養護学校の現状改善にむけて

三好養護学校は、倉庫を教室として使うほどの教室不足をはじめ、多くの課題が存在する状態である。この教育環境の改善に向けて県との話し合いはどのようになっているのか。

答 弁 教育委員会

昨年度は現状の緩和策として廃校となった藤沢小学校を活用した分校設置の申し入れを5回行っているが、未だ抜本的な解決に至る結論には達していない。今後は、県の担当課と具体的な方策について協議するとともに、愛知県市長会を通じた要望や陳情書の提出なども考えながら、強く県に要望していきたい。





○交通事故防止を目指し緊急の交通安全啓発活動



今年にはいり、豊田署管内において交通死亡事故が多発しています。この危機的な状況を受けて、一人でも多くの市民に交通安全への意識を高めてもらおうと、6月11日の本会議終了後、市議会議員と市特別職等が国道153号沿いの歩道から緊急の交通安全啓発活動を実施しました。

▲市役所南庁舎前、国道153号沿いでの活動の様子

○勤続議員表彰



三江弘海 加茂みきお 岩月幸雄 中根 大

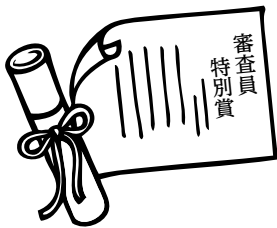
4名の議員が全国市議会議長会から勤続表彰を受け、6月定例会の開会に先立ち、松井議長から表彰状が手渡されました。

15年表彰 中根 大、岩月幸雄、加茂みきお

10年表彰 三江弘海

(※敬称略)

○議会報コンクールで審査員特別賞を受賞



4月13日に開催された全国40市が加盟する中核市議会議長会の総会において、「第5回議会報コンクール」が実施され、「とよた市議会だより」が審査員特別賞を受賞しました。豊田市議会の受賞は平成20年度の優秀賞に続き2年ぶり3回目となります。今後も読みやすい紙面づくりを目指していきます。

FMラジオで議会情報発信中!『市議会の扉』



豊田市議会では、毎月第4木曜日にエフエムとよた(ラジオ・ラビート)で「議会とは」を紹介するPR番組『市議会の扉』をオンエア中です。毎月1回、テーマに合わせた議員が登場し、パーソナリティからの質問に答えながら議会情報をお届けします。どうぞお楽しみに!

また、ラジオ・ラビートでは、『市議会の扉』のほか、本会議の代表質問・一般質問や市長が行う市政方針などの模様を生放送しています。こちらもぜひお聞きください。

の模様を生放送しています。こちらもぜひお聞きください。

- ◎放送チャンネル
ラジオ・ラビート 78.6MHz
- ◎番組名
市議会の扉
- ◎放送時間
毎月第4木曜日 13:00~13:10
- ◎再放送
翌週日曜日 8:45~8:55

- ◎今後の放送予定
- 7月22日
『特別委員会の設置について』
- 7月25日
『特別委員会の設置について』(再放送)
- 8月26日
『議会の仕組み(年間の議会活動)』
- 8月29日
『議会の仕組み(年間の議会活動)』(再放送)

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

インターネット録画放送

豊田市議会 検索

『市議会だより』のバックナンバーや詳しい会議録もご覧いただけます。

<http://www.city.toyota.aichi.jp/fa00/fa01/main.html>
<その他>の「議会中継 録画映像」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/21ch(アナログ) 121ch(デジタル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継
チャンネル/78.6MHz

9月市議会定例会の予定

9月市議会定例会は
9月3日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「6月市議会定例会号」です。

※このページは裏面になります。
本紙から抜き取ってご覧ください。



古紙の配合率100%再生紙を仕様



PRINTED WITH SOY INK



豊田市議会は、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています